



ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2017-2018

ロータリー:変化をもたらす

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル ■会長/入谷 直行 ■幹事/加藤 英敏 ■会報・雑誌・広報委員長/川瀬 悟
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

2017-18年度 国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

第 1242 回

2017年 11月 28日(火) 晴 第 17 回

～ロータリー財団月間(11/2～8 世界インターアクト週間)～

斉 唱 四つのテスト
出 席 会員 56 名 (出席率算入人数 47 名)
出席 42 名 出席率 89.36%
前々回補填率 79.17%(11月11日分)
ゲスト 米山学友 名古屋中央 RAC 会長
トラエフ・サイドホンさん

入 会 式

■紹介 推薦者 江松 央統さん
皆さま、こんばんは。前回自己紹介をしていただいているのでご存じだと思いますが、福井佳亮さんです。緑区で新聞の専売店をやっておられます。これから宜しくお願ひ致します。

■歓迎のこたば 会長 入谷 直行さん
福井さん、ようこそ名南RCへ。ただいま自己紹介でもありましたが、昭和55年生まれという事で驚きました。つい数ヶ月前に地区の増強委員長さんに平均年齢が66歳であると言われまして、その時は啞然と致しました。30歳代の新入会員という事で、その前にも若い方2名に入会していただきましたが、これで平均年齢が下がったかなという感じです。本当に若い力を発揮していただきまして、ますます名南RCを立派なクラブにしていっていただきたいと思ひます。誠におめでとうござひます。

福井 佳亮 (ふくい よしあき)さん

生年月日: 昭和55年7月8日
職業分類: 新聞専売店
事業所: ㈱福井新聞舗
推薦者: 江松 央統さん



改めまして新入会させていただきました福井佳亮と申します。年齢は37歳です。江松さんよりも下の最年少と聞いております。最年少の名に恥じぬよう元気一杯頑張らせていただきますので、これからもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

会長あいさつ

会長 入谷 直行さん

皆さま、こんばんは。本日も海外のオークションの話です。

もっとも私は国内のオークションはたまに出ますが、海外のオークションは全くの傍観者で、情報が多少あるという程度です。ちょうど半月ほど前の11月15日(水)にニューヨークのクリスティーズで本当に記録的なオークションがありました。



何が出てきたのかと言いますと、レオナルド・ダ・ヴィンチ作の『サルバトルムンディ』というキリストを描いた作品なのですが、大体その制作年は『モナリザ』を描いた頃とほぼ同時期か、少し前位の1500年頃と推定されています。元々はフランス国王ルイ12世の依頼で制作されて、後にイングランド国王チャールズ1世の手に渡っています。その後、18世紀終わりの頃から行方不明になっておりましたが、1958年のオークションに突然登場しました。

この時はどうもこれは怪しい物だ、複製ではないかという事でたった45ポンド、現在の日本円に換算すると7,000円位の金額で偽物扱いをされていました。しかし2005年に再び出てきて、美術商が10,000ドル位で落札しました。10,000ドルという約1,000,000円ですかね。これも中途半端な金額です。ちょうどこの頃は大変コンディションが悪かったのですが、ひょっとするとこれは悪い物ではないかもしれないという事で、ニューヨークの有名な絵画の修復家が数年掛けて表面を綺麗に洗浄し、上の絵の具を剥がしていく内に、これは間違いなく本物だという事になりました。

それで今回のオークションという事なのですが、今現存するダヴィンチの作品というのは16点しかありません。その内の1点が今回出た物ですが、ほとんどが国や美術館の所有であったりするので、この1点だけがたまたま民間人が持っていたという事です。1億ドルなので100億円以上という概算が付いたのですが、実際の落札金額というのが4億5千30万ドル、日本円に換算すると508億円です。とんでもない金額で、これが史上最高の金額だったという事で、この11月15日は大変世界で話題になりました。

今までの最高額が2015年のパブロ・ピカソ作『アルジェの女たち』で1億7千940万ドルという事でしたので、随分それとは大きくかけ離れた金額になっています。かつて大昭和製紙の齊藤英さんが落札しました、フィンセント・ファン・ゴッホ作の『医師

ガシェの肖像』は8千250万ドル、当時は円安だったので円換算すると120～130億円という事で色々物議を醸しましたが、この方が買われたルノワールと共に2点が海外に行ってしまっています。この絵の出品者は誰なのかという事ですが、ロシア人の実業家でドミトリー・リポロフ氏です。サッカーフランスリーグ、モナコの会長もしている大変な実業家です。この方が1億2千万～1億3千万ドルで買われて、それが4億ドルですから、日本円にするとその差益が270億円位あったという、我々とは無縁の数字です。ちょっと世界を見渡すとこういう楽しい話もあるという事です。ちょっとご紹介をさせていただきました。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 加藤 英敏さん

1. 2018年6月23日（土）からトロントで開催される国際大会の件ですが、基本的に登録はマイロータリーから行っていただきますが、代行してくれる旅行会社もございます。また登録料は12月15日（金）から値上がりしますのでご注意ください。
2. 今年度IMは全員登録しました。登録料をまだ未払いの方も10名強おられるので、お早めの振り込みを宜しくお願い申し上げます。
3. 次回12月5日（火）は年次クラブ総会です。17時30分から17階パインの間にて理事会もありますので宜しくお願い致します。

ニコボックス

- ◆ 米山学友、トラエフ・サイドホンさんの外部卓話楽しみにしています。

坂田 信子さん 安藤 修さん 末永 祐敬さん
新原 尚さん 有川 英敏さん 神田 広一さん
久米 伸治さん 高橋 司さん 木村 猛さん
犬飼りさ枝さん 佐々木元彦さん 東山 直史さん
小野 雅之さん 中西 芳子さん 佐々木 暢さん
木下 福郎さん 加藤 宜之さん

- ◆ 台北ミレニアムロータリー訪問楽しかったです！

加藤 英敏さん 福井 佳亮さん 江松 央統さん
上田 正秀さん 児島 徳和さん 川瀬 悟さん
白藤 憲雄さん 中村 勝さん 長尾 浅吉さん
下村 徹嗣さん 伊藤 圭一さん 鈴井 一博さん
田中 一雄さん 三浦 和人さん 森田敏二三さん
牧野 好弘さん 入谷 直行さん 本多 利郎さん
日下智重子さん 大橋さなえさん 三島多恵子さん
水野 俊男さん

- ◆ 11月7日 平成29年度

名古屋国税局長納税表彰を受賞しました。決して高額納税ではありません。

人格かな？ 人柄かな？ 川辺 清次さん

本日合計 69,000 円 累計 866,000 円

委嘱状授与

- 会長 入谷 直行さん

本日も米山関連の卓話で、大橋さなえさんが米山

記念奨学委員会として地区へ出向していただいておりますが、この度、選考の面接官という事で、これは大変名誉な事でございます。委嘱状が参っておりますので皆さまにご紹介をしたいと思います。ガバナーの名前出来ておりますので、代読させていただきます。

委嘱状 大橋さなえ殿

貴殿を国際ロータリー第2760地区の2018学年度公益財団法人ロータリー米山記念奨学生選考の面接官に御委嘱申し上げます。ご協力の程を宜しくお願い致します。

11月30日

神野重行ガバナー



委員会報告

- 国際奉仕委員会 委員長 白藤 憲雄さん

皆さま、こんばんは。今月の21日（火）～24日（金）まで台北のミレニアムRCへ私も含め総勢10名で行って来ました。台北ではテレサ・テンさんの墓参りをしたのですが、墓の前に金の像があり、そこにはピアノの鍵盤のようなものがありまして、そこを踏むと音楽が流れます。また大きなトランペットのようなスピーカーがありまして、そこからテレサ・テンさんの曲が流れています。ただし、台北なので日本語ではありません。

現地では名南RCを入れて全部で8つの合同例会がありました。その時に大変な歓迎を受け、ウェルカム・パーティーとして18時から4時間ほど続けました。台北の方は楽器を演奏するのが上手です。ミレニアムRCは来年6月19日に20周年を迎えるという事で、招待状をいただけてきました。宜しくお願い致します。

それと以前、米山奨学生だった潘さんも駆けつけてくれました。この次の6月も駆けつけてくれると思います。ありがとうございました。

外部卓話

- 卓話者ご紹介 大橋さなえさん

皆さま、こんばんは。本日卓話をしていただきますトラエフ・サイドホンさんをご紹介致します。サイドホンさんはウズベキスタン共和国出身です。ウズベキスタンは1991年のロシア解体により独立しました。現在、サイドホンさんは名古屋大学大学院経済学部で学んでおられます。そして昨年度米山奨学生を終了しまして、学友として現在中央RACの会長として活躍されております。また先日アメリカのボストンで就職活動をされまして、内定をもらわれてきたそうです。

サイドホンさんのお父様は政治家として活躍されていたのですが、現在中国系の大統領に代わってから失脚されて、彼は仕送りされて自費で日本に来ていたのですが金銭的に大変困って、米山の奨学金制度でとても助かったそうです。日本で苦勞して一生懸命学んでいる青年です。

サイドホンさんは語学が大変堪能で、日本語・英語・ロシア語・ドイツ語と自国のウズベキスタン語と5ヶ国語を話されるそうです。その中で一番苦手なのが日本語だそうです。本日はその日本語で卓話をお願いしたいと思います。皆さま、宜しく願い致します。

■米山学友 名古屋中央 RAC 会長

トラエフ・サイドホンさん

皆さま、こんばんは。本日はお集まりいただき誠にありがとうございます。それでは画面をご覧ください。これは何だと思いませんか?ベルリンの壁です。ベルリンに限らず、昔は国の周りを城壁で囲んで外から人々や文化が入ってこないようにしました。また自国の人々や文化が外に出ないようにしました。日本の鎖国もその1つでしたね。では、次の写真はどのように?橋ですね。近代に入って人々は国の間に長く大きな橋を建設しました。橋は国々の間で文化と技術と情報を交換し繋ぐ役割をしました。私がここで言う橋は、物理的な意味での橋だけではなく、国際交流のシンボルとしてのイメージで申し上げているのです。ウズベキスタンはソビエト連邦に占領されていた時代には閉ざされた国でした。しかし独立した後、私達ウズベキスタンの国民は壁を取り除き、橋を架ける努力を重ねました。世界に向かって国を開こうとしているのです。この理由により、私は本日皆さまの前で発表させていただきます。



これから少し自己紹介をさせていただきます。私は中央アジアのウズベキスタン共和国で生まれました。皆さまにとって私の国はあまり馴染みがないかもしれませんが、26年前ソビエト連邦から独立しました。私は共産勢力が残っていてもグローバリゼーションが始まろうとしていた時期に生まれました。今の私を形成してくれた父は、「世界はこれから変わる。グローバル化に対応できる人間にならなければならない。」と言いました。小学5年生の時、父は私をインターナショナルスクールに送りました。インターナショナルスクールで学んだ一番の事は、様々な文化や国籍の人々と出会い、彼らを通して自分の世界が広がった事です。この写真だけでも様々な国の人が集まっているのが分かります。

その中で何故日本を選んだのか。2つ理由があります。1つ目は私に日本人の友達が出来て幸せだった事です。高校の時に仲の良い友人の1人は日本人で、その友達の家に行くと日本の文学に触れる事ができました。その友達の母親が作家でした。色々な本があり、最初に行った時に目に付いた本は、皆さまご存じかと思いますが『源氏物語』でした。その本を読んで、日本がこんなにも異なっていると知ってとても驚きました。その結果、日本に行きたいと思うようになりました。2つ目の理由は卓話の最後に説明させていただきますが、皆さまがウズベキス

タンを好きになっていただけるように頑張ります。

きっと皆さまの頭の中にある質問は、「ウズベキスタンとは何処にある国ですか?」だと思います。ウズベキスタンの面積は大体日本と同じで、周りの国はカザフスタン、キルギスタン、トルクメニスタンとタジキスタンです。ここでよく言われるのがスタン系です。何故スタンと付くのかご存じでしょうか?以前ウズベキスタンの地域、中央アジアの地域はペルシャの帝国に入っていました。ペルシャ語でスタンの意味は国の意味です。だからウズベキスタンはウズベクの国、カザフスタンはカザックの国という意味です。

次に気候についてお話しさせていただきます。日本と同じでウズベキスタンには四季があります。夏には気温が40℃に、冬にはマイナス10℃になる事もあります。

続きまして、少し歴史について説明させていただきます。ウズベキスタンがある地域にはヨーロッパや中央アジア、南アジアから様々な文化や人々が集まってきました。ここがシルクロードの一部であったからです。19世紀の終わりにグレートゲームと呼ばれる大英帝国とロシア帝国の勢力争いの中で、ロシアが中央アジアを征服しました。ロシアとアメリカの南北戦争の後、閉ざされていた中央アジアの綿花の輸入が必要だったからです。綿花の生産と輸入の為に、ロシアは中央アジアに色々な鉄道とインフラを立てました。ここが国の中で一番大変な時期だと思います。ウズベキスタンが共産主義になった時です。1917年のロシア革命の間に、ジャッジストと呼ばれる民主主義運動が起こりました。ロシアは共産主義のグループが台頭した一方、中央アジアで反ロシア共産主義の蜂起が起こりましたが失敗しました。その結果、1924年にウズベキソビエト社会主義共和国となりました。スターリンの時代にウズベキスタンでも沢山の人が投獄、又は追放されて殺害されました。いい事もありました。第二次世界大戦後、ロシアは色々大規模な産業化をしました。研究センターや地下鉄などを建てました。また1991年でソビエト連邦よりウズベキスタンが独立しました。少しウズベキスタンの民族についてお話しさせていただきます。ウズベキスタンの人口は現在30,000,000人で、日本の25%です。その中でウズベキスタン人は80%、他はロシア人など色々な民族が入っています。ウズベキスタンの民族もシルクロードの影響で色々な民族の血が混ざっているのを見目が色々あります。

ウズベキスタンの食べ物も、シルクロードの影響で色々な国のものが入っています。中華料理も入っていますし、インドやヨーロッパからの食べ物もあります。

皆さまが私によく聞く質問が、「どんな宗教ですか?」です。その答えがウズベキスタンは無宗教です。宗教と政治は別です。何故ならウズベキスタンは色々な宗教が入っています。ロシアの東方正教会とイスラム教が入っています。

言語については、ウズベキスタン語は第1言語です。あと現在ではロシア語と英語を学んでいます。仕事で使うので英語の勉強を希望する方が多いです。

次にウズベキスタンの町について説明させていただきます。私は首都のタシュケント出身です。タシュケントが特別な理由は全ての建物に歴史があ

ります。ナヴォイ劇場という建物には大変な歴史があり、日本人が建てました。第二次世界大戦後は日本人がロシアの捕虜となり、色々な所で強制労働させられていました。強制労働なのにこのような美しい建物を丁寧に働いて建てました。でもそこで話は終わりません。1966年にウズベキスタンの歴史の中で一番強い地震がありました。その地震の震源地はその劇場の隣でした。周りの建物が全壊する中、この劇場だけが残りました。70,000人が助かりました。独立後、ウズベキスタン人は日本人に敬意を表して記念碑を建てました。

次にサマルカンドです。ここはシルクロードの真ん中に位置していました。色々な美しい建物が見られます。次にブハラです。私にとってブハラはウズベキスタンの京都です。町に入ると時間が止まったような感覚になります。

ウズベキスタンの天然資源についても説明させていただきます。広範囲にわたる様々な資源があります。金の埋蔵量は世界第4位、石炭の埋蔵量は世界第10位、ウランの埋蔵量は世界第12位で、石油と天然ガスの埋蔵量は計り知れません。

農業についてもお話させていただきます。国土は主に綿花の栽培用に開拓されています。綿花の生産量は世界第5位で輸出量は世界第6位です。他にも穀物や果物、野菜などの栽培が行われています。

ウズベキスタンの国旗の意味ですが、青い色は空と透明、白は平和、緑は自然を象徴しています。正直に言うと月の意味は分かりませんが、12個の星はウズベキスタンの県が12個あるのでその数です。

そして私の夢の話になります。何故、本日私が皆さまの前で卓話を発表しているのでしょうか?私はウズベキスタンを素晴らしい国だと思っています。皆さまにもウズベキスタンを素晴らしい国であると思ってもらいたいです。だから私が受けてきた色々な教育でも様々な国と協力をしなければならないと学びました。でも、現在ウズベキスタンと協力している国々の中に日本がありません。私は日本で勉強をして色々と学ぶ事が出来ました。日本人はすごく勤勉で、技術も高く、頑張って働く事などとても尊敬しています。正直に言うと、ウズベキスタン人も同じようになって欲しいです。だからウズベキスタンと日本の間に、長い橋を作りたいと思います。それが私の夢です。

これを持ちまして、私の卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

第 1244 回例会 (12月12日) のご案内

忘年家族会 16F「アゼリア」

18:00～20:30